

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校名	加古川市立平岡中学校
-----	------------

1 教育目標 「こころ豊かで自立した生徒の育成」～生徒に寄り添い、対話を重視する教育の実践～

2 基本方針

(1) 生徒の学力向上・・・主体的・対話的で深い学びの推進
 (2) 生徒指導体制の確立・・・基本的生活習慣の徹底 一人ひとりを認め、個性を伸ばす指導体制
 (3) 生徒会の活性化・・・生徒会活動の活性化による、生き生きとした生徒の育成
 (4) 教師力の向上・・・協同的探究学習をふまえた授業改善 ICTを活用した授業改善 校内授業研究体制の充実

3 指導目標

(1) 自立心の育成 (2) 「確かな学力」の育成 (3) キャリア形成への支援 (4) コミュニケーション能力の育成 (5) 「ことばの力」の育成 (6) 特別支援教育の充実 (7) 人権尊重の精神を生かす道徳・人権教育の充実 (8) 生徒理解に基づく生徒指導 (9) 魅力ある授業の展開 (10) 教職員の協働体制の確立 (11) 開かれた学校づくりの推進

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生徒の学力向上	主体的・対話的で深い学びの推進	B	授業指導の計画は、生徒の大半が意欲的に取り組めるよう工夫されているが、家庭での宿題実施率や学習習慣の定着には課題が残る。今度は「生活ノート」の活用を再徹底し、家庭と連携した自学自習の質を高めたい
生徒指導体制の確立	基本的生活習慣の徹底・個性を伸ばす指導	B	日々、生徒一人一人との対話を大切にし、職員の間が生活習慣への働きかけを行っている。しかし、保護者視点での「あいさつ」評価が低下しているため、学校・家庭・地域が一体となった指導体制を再構築し、社会の決まりを守る意識を高めたい。
生徒会の活性化	生徒会活動を通じた、生き生きとした生徒の育成	B	生徒会活動は継続されているが、生徒の「活発にできた」という実感が減少している。今後は生徒がより主体的に、興味をもってプロジェクトを企画・運営できるような場や機会をさらに増やしたい。
教師力の向上	ICT活用・協同的探究学習を踏まえた授業改善	A	多くの職員のが自ら研修に参加し、ICT活用や教材研究に意欲的である。今までの対話を中心とした学びに加え、デジタルツールを効果的に活用した情報共有や共同作業などを深化させ、組織的な危機管理体制も維持・向上させたい。

自己評価の適切さ (関係者評価)	達成状況
現在の学習の主体である「対話的で深い学び」を推進していくうえで、授業での活発な学びは非常に有効な手段と考えます。今後は家庭学習の習慣化に向け、保護者との連携がさらに深まるよう期待しています。	B
毎日の生徒とのかかわりが非常によく分かります。今後は、保護者とのコミュニケーションを一層密にし、校内だけでなく地域でも自然にあいさつができるよう、基本的生活習慣の定着に向けた継続的な指導を願います。	B
生徒会活動が安定して行われていることは評価しますが、生徒自身の手応えがやや低下している点は注意すべきと考えます。今後は生徒が自ら行事を運営できるような、一歩踏み込んだサポートを期待します。	B
ICT機器の活用は教育の可能性を広げるものと考えます。日々、研鑽に努める姿勢は心強く、今後も生徒たちにとって有効なICT活用ができるよう、教材研究と安全な教育環境の維持に努めることを期待します。	A